

7月号

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校
令和6年6月21日

「こどもまんなか青森」



校長 小笠原 雅和

この原稿を作成しているのは6月はじめ。5月には夏を思わせるような暑い日もありましたが、最近では日中の最高気温が15度前後の日も多く夏は近くて遠いようです。ハニ養だよりの発行日の天気はどうか・・・それでも児童生徒のみなさんは体調を崩すこともなく元気いっぱい。笑顔で学習に取り組む姿をみると元気をもらいます。

さて、今回は「こどもまんなか青森」を掲げる「青森県教育施策の大綱（令和6年度～令和10年度）」について御紹介します。

青森県ではこれからの時代を担う子供たちが2040年の世界で求められる力を以下の3点とし、子供たちが学校教育等を通して、身に付けてほしい力としています。

- 1 学びと挑戦（新たな価値を創造する力）
- 2 主体性（責任ある行動をとる力）
- 3 対話（対立やジレンマを克服する力）

そして、「めざす教育」として

「こどもまんなか青森 ～未来を担う子どもたちのために～」を掲げ、

本県で生まれ育った全ての子供たちのウェルビーイング向上のため、子供をまんなかに据えた教育の実現を目指しています。



こども
まんなか青森

さて本校では？と考えると、学校教育目標と4つの校訓（「健康な体」「旺盛な意欲」「生活する技能」「豊かな心」）にあるように、学びと挑戦や主体性、対話を大切にしながら日々の教育活動に取り組んでいます。さらに「こどもファースト」として、子供を中心にした学習展開を進めています。今後ももちろん継続してまいります。